

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会

Newsletter



山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

発行/山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会
〒753-8502 山口市桜島3-2-1 TEL:083-928-4783 FAX:083-928-3547
印刷/(株)山口県農協印刷



名門山口県立大学

社会福祉学部をめざして

社会福祉学会長 横山 正博

今年の冬は、山口も雪がよく積もり、とても寒い冬でした。しかし、寒ければ寒いほど、暖かみや温もりの大切さを教えてくれました。暖かみや温もりの大切さを教えてくれました。暖かみや温もりの大切さを教えてくれました。

東京オリンピックが開催される2020年には、いよいよ国際文化学部との共用ではあります。新しい社会福祉学部棟が完成します。聖書によると、新しい葡萄酒は、新しい革袋に注がなければならぬとあります。新しい葡萄酒は発酵前のものと考えられており、発酵すると熱を出すので、古い革袋では傷んでしまうようです。本学部が新たに発展していくためには、そろそろ新しい葡萄酒を注ぐための新しい革袋が必要な時ということでしょうか。四号館を学び舎としてきた卒業生にはやや寂しい思いもあると思いますが、卒業生の皆さんとともに名門社会福祉学部を創っていくかと思っております。

ところで、名門校である有名校であるかの違いは、名門とは卒業生が活躍していることを言うのだそうです。有名は、時流に乗った周知度と云うことができます。本学部が目指す方向は、大手私学のような知名度はなくても、名門山口県立大学社会福祉学部であることです。本学部の卒業生の社会での活躍がそのまま本学部が名門であるかどうかの評価につながります。

1月28日、念願の四国支部が設立されました。10数名の卒業生が集まっていたとき、それぞれの職場や家庭で活躍している様子を実感することができました。今後も卒業生のネットワークをさらに拡大し、名門山口県立大学社会福祉学部の卒業生としての矜持をもって活躍してほしいと思います。

四国支部の次は広島支部、山陰支部、九州支部と考えています。名門社会福祉学部であるためには、卒業生の活躍が基本となります。これからも、活躍ふりや近況を随時お知らせください。またときに、悩んだり、迷ったりと風が吹きあれた時は、遠慮なく母校であり母港を訪ねてきてください。



平成29年8月5日(土)に第19回山口県立大学社会福祉学部
社会福祉学会総会および社会福祉セミナーを開催しました。

第一部 シンポジウム

「『社福』の可能性は無限大!!」

今年のシンポジウムは「『社福』の可能性は無限大!!」というテーマのもと、コーディネーターに横山順一先生、モデレーターに草平武志先生を迎え、社会福祉の道とそれ以外の道へ進んだ卒業生のお二人からお話しをいただき、社会福祉学部で学んだ『社福マイナードッグ』の道へ進んでも活かせるのかを考えました。また、在学生には現在、当学部で学ぶ中での心境を聞かせ



ていただきました。

在学生の織田彩加さんからは、3年生という進路について最も考える時期に、社会福祉に関する道へ進むべきか、一般の道へ進むべきかを悩んでおり、その率直な思いをぶつけていただきました。

社会福祉の道へ進まれた19期生の谷村鴻文さんは、現在、下関市社会福祉協議会に勤務されています。ご本人のユニークなキャラクターもあって、皆で行ったアイスブレイクは大盛り上がりでした。当学部で学んだ知識、技術、精神が最大限に活かされているという印象を受けました。

15期生の中村有紀子さんは、山口県警察下松警察署にて警察官として勤務されており、当日も漂々しい警察官の制服にてご登壇していただきました。業務の中で、同僚との考え方のギャップに悩むこともあるという反面、当学部で学んできたからこそできた経験や成果について語っていただきました。多くの卒業生が社会福祉の道へ進む中、それ以外の道へ進む卒業生も増えてきています。今回のシンポジウムは、どの道へ進むことも当学部で学んだ社福マインドは活用できるということとを皆が再認識し、在学生にとっても進路を決める上での指針になったのではないかと思います。

(文責：13期生 関 祥平)

〈在学生登壇者からの声〉

私はこのシンポジウムに参加するまでは、漠然とした不安と出せない答えに大きな不安を抱いていました。しかし、このシンポジウムで多くの先輩方からお話をお聞きし、自分の信じた道を進んでいいんだ悩んでいるのは自分だけじゃないんだと思えるようになりました。そして、このシンポジウムでの一番の収穫は、「社会福祉学部で学んだ社福マインドは、どの道へ進んでも必ず根底に生きてくる」ということでした。社会福祉学部を卒業したからといって、福祉の道に縛られないでもいい、社会福祉を学ぶことももっともという可能性は無限大に広がっていくということに気づかせてもらいました。3年生の今、定まっていらない進路に焦りと不安はありますが、人との出会いを大切に、目の前のことを精一杯、自分の想いのままに生きていこうと思います。

(文責：社会福祉学部3年 織田 彩加)

第二部 第一分科会

「名刺持ってあつまれ!」

第一分科会では、「名刺持ってあつまれ!」をタイトルとし、就職して間もない卒業生からベテラン職員となった卒業生まで様々な方に参加して頂いた上白木先生の講義を聴講した後、グループワークを行いました。

この分科会の目的は、「仕事や生活を楽にする」ことであり、まず、上白木先生の講義で、「職業性ストレス簡易調査票」を用いて実際に自分の置かれている状況をチェックし、解説をして頂いた後、同職種、多職種が集まったグループで、それぞれが置かれている状況、ストレス発散方法などを発表したり、それぞれの職場の情報交換を行ったり



しました。

参加した方のフィールドは、医療分野、高齢者を対象としている職場、障がい者を対象としている職場、地域全体を考えている職場など様々でしたが、どの分野で働いている卒業生にしても、いろいろな葛藤を抱えながらコミュニケーション技術を駆使して仕事をしているようでした。人と関わる中でストレスが生まれるのかも知れませんが、そのストレスを解決するのにもまた、人とのネットワークやコミュニケーションであると感じた時間でした。

(文責：4期生 河村 奈津子)

第二部 第二分科会

「中堅・新任卒業生への道しるべ」

第二分科会では長谷川真司先生を講師に迎え、「中堅・新任卒業生への道

するへ」というテーマでセミナーを行いました。

今回、中堅新任の各意見が聞けるような配置でグループをつくり、中堅の方にまとめ役をやっていたながら、日頃働くうえで感じている悩みや疑問等を自由に話し合っていたできました。その後、それぞれのグループで出した内容を発表し、参加者全員で共有し合いました。

話し合いでは、仕事内容や人間関係のことなど、様々な話題が飛び交い共感できる悩みや中堅・新任ならではの悩みを打ち明け合いました。また、中堅の方からは様々なアドバイスや助言等をいただき、とても有意義な実のある時間を過ごすことができました。

今回の分科会を通して、すべての人がそれぞれ悩みを抱え解決しながら仕事に取り組み進み続けているのではないかと思えました。また、このように悩んでいるのは自分だけではないんだと安心感を得る場面もありました。



第2部 第3分科会

「卒業生と教員による 在学生のためのジョブカフェ」

第3分科会では在学生を対象としたジョブカフェを行い、たくさんの方が参加してくれました。最初に「社福で得たつながり」というテーマで私の大学生活や就職活動について、話をさせていただきました。その後、福祉

のようにお互いの悩みを相談し合ったり、スパーセッションをいただける機会をもつことができてとても良かったです。

長谷川先生をはじめ、この度参加していただきました皆様、ありがとうございました。

(文責：19期生 町田 瑛里)

一般企業、教員、行政という分野に分かれ、そこに各分野で働いている卒業生も加わり、在学生が就職や大学生活について卒業生へ質問を行いました。

私は福祉ブラスに入ったのですが、話し出すと次第に話が盛り上がっていき、すぐに時間になってしまいました。在学生からは就職についての質問が多くあり、早いうちから将来に対して真剣に考えている学生が多いことに大変感じました。

今回このジョブカフェを通して、私自身、就職について考えていた大学生活の時を振り返ることができました。また、振り返る作業の中で、何故今の分野の仕事に就いたのか再確認することができ、今後その思いを忘れてはいけなと感じました。

(文責：19期生 南波 航希)

学会交流会

交流会では約60名の参加があり、うち半数は在学生の参加者が占めていました。初めこそは静かな雰囲気でしたが、同じ学年の卒業生との会話や教員との交流、また、世代が違っても学生と話をすることで賑やかに、様々な交流の場面が見られました。

卒業後なかなか会うことが難しくなってしまう、かつての同級生たちも参加しており、再会を懐かしむ姿を見かけることができました。また、先生方とは当時の大学生活の話、今の仕事の話などにも話が咲きました。

今回幹事として参加し事前準備等スムーズにいかない場面もありましたが、他の幹事・大学との意見交換や当日学生との交流など、普段なかなか来ない体験をすることができて良かったです。

(文責：19期生 坂本 一平)

タイムスケジュール

- 13:00 総会
13:30 社会福祉セミナー
第1部 シンポジウム
「“社福”の可能性は無限大!!」
シンポジスト 中村有紀子さん (15期生)
谷村 鴻文さん (19期生)
織田 彩加さん (社会福祉学部3年生)
関 祥平さん (13期生)
司会 横山 順一准教授
コーディネーター 草平 武志教授
コメンテーター
- 15:15 第2部 分科会
第1分科会
「名刺持って集まれ!」
講師 上白木悦子准教授
司会 河村奈津子さん (4期生)
- 第2分科会
「中堅・新任卒業生への道しるべ」
講師 長谷川真司准教授
司会 津田 隆志さん (4期生)
- 第3分科会
「卒業生と教員による在学生のためのジョブカフェ」
進行 福江 寛子さん (16期生)
発表者 南波 航希さん (19期生)
福祉分野 浅川 恵美さん (13期生)
作間 友樹さん (18期生)
谷村 鴻文さん (19期生)
南波 航希さん (19期生)
- 一般企業 山崎はるかさん (18期生)
後藤 優香さん (18期生)
教員 嶋津 諒さん (18期生)
川崎 円さん (19期生)
行政 中村有紀子さん (15期生)
松浦 仁美さん (19期生)
- 16:45~18:00 交流会

四国支部発足しました!

平成30年1月28日(日)、愛媛県松山市にて社会福祉学会の四国支部が設立されました。基調講演として、横山正博先生から「共生社会の実現に向けて求められる社会福祉士の役割」というテーマで、社会福祉を取り巻く最新の動向や、社会福祉士に求められるものなどについて私たちへの熱いメッセージを込めてお話しいただきました。その後の交流会では、昼食を取りつつ、参加者や県大の近況などについて情報交換をしました。「県大」という共通点で、初めて会う方同士もすぐに打ち解け、和やかな雰囲気の中、時間の許す限り、多くの情報交換ができました。最後は、設立総会で今後の方針についても確認をしました。

私自身、卒業後は「県大に恩返しをしたい」、「四国を盛り上げたい」という思いがあり、この度、縁あって四国支部を創設することができました。大学で出会った仲間は、私にとって一生の宝物です。今回はそれを再認識する機会にもなりました。これから出会う仲間のためにも、四国支部での活動を緩やかに、着実に進めていきたいと思います。

最後になりましたが、長期間、四国支部創設にご協力いただいた横山先生、岩本先生、四国支部役員の皆様へ感謝申し上げます。今後もよろしくお願い致します。

四国支部長 13期生 白石 順也

今年度、社会福祉学会では初めてとなる支部が四国地方に立ち上がりました。四国4県(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)の卒業生、在学生のみならず、世代を超えたネットワークを作る良い機会になりますので、興味のある方は是非、支部活動にご参加ください!



平成28年度事業報告

- 1 第18回社会福祉学会総会 (H28.8.6)
- 2 第18回社会福祉セミナーの開催 (H28.8.6)
- 3 学会ニュースNews Letter第19号の発行 (H29.3.15)
- 4 卒業生の社会福祉士・精神保健福祉士国家資格取得支援

平成28年度決算

【収入の部】

繰越金	2,418,342
会費	596,000
印税	5,775
事業費	63,000
寄付	895
利子	226
計	3,084,238

【支出の部】

事務費	3,380
役員費	129,719
事業費	143,879
セミナー運営費	126,718
幹事会費	75,534
計	479,230

繰越 2,605,008円

平成29年度事業計画

- 1 第19回社会福祉学会総会 (H29.8.5)
- 2 第19回社会福祉セミナーの開催 (H29.8.5)
- 3 学会ニュースNews Letter第20号の発行 (H30.3.20)
- 4 学会員活動助成事業
- 5 社会福祉士・精神保健福祉士実習指導者講習会受講料助成事業
- 6 卒業生の社会福祉士・精神保健福祉士国家資格取得支援
- 7 四国支部立ち上げ支援

平成29年度予算

【収入の部】

繰越金	2,605,008
会費	550,000
印税	6,000
事業費	55,500
寄付	15,000
利子	300
計	3,231,808

【支出の部】

事務費	10,000
役員費	140,000
事業費	238,000
セミナー運営費	126,000
幹事会費	78,000
計	592,000

第19回総会承認事項

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会事務局からのお知らせ

昨年3月より学会のFacebookを始めました! みなさんご覧になっているでしょうか?

Facebookでは幹事会や年に1回開催する社会福祉セミナーの様子などを掲載しています。また、学会員が関わるイベントや求人情報なども掲載していますので、閲覧するだけでなく、掲載して欲しい記事がありましたら、事務局までご連絡ください。

TEL:083-928-4783 FAX:083-928-3547
E-mail:sw-gakkai@yamaguchi-pc.ac.jp



山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会

検索

第20回総会および 社会福祉セミナーのご案内

日時:平成30年10月6日(土) (予定)

13:00~18:00

20回目となる社会福祉セミナーは例年とは時期を変更し、**記念大会**として開催します。内容は現在、学会幹事を中心に考えておりますので、詳細は後日、お知らせいたします。山口県内外から多くの方のみなさんのご参加をお待ちしております!